

# コロナ禍における自治会活動事例集

市内の各自治会に、自治会活動を行う上で新型コロナウイルス感染症対策と活動を両立させている取組みについて伺った「コロナ禍における自治会活動について」のアンケートで、市内の各自治会から寄せられた活動事例や、他市での活動事例をまとめました。

## 目次

### 市内自治会活動事例 . . . . . 1～3

◆会議◆ . . . . .	1
◆情報共有◆ . . . . .	1
◆イベント◆ . . . . .	2
◆防犯・防災◆ . . . . .	2
◆運営方法◆ . . . . .	3
◆その他の活動◆ . . . . .	3

### 他市の活動事例 . . . . . 4～6

### 【参考】書面議決書（参考様式） . . . . . 7

## 市内自治会活動事例

### ◆会議◆

- ・ ソーシャルディスタンスを確保し、部屋の窓を開けて役員会を実施。
- ・ 偶数月に利用している班長以上の役員会は、自治会内の広場を利用して露天会議を実施している。
- ・ 役員会は、地域の状況を見て、3役（会長・副会長・会計）のみの参加とする。
- ・ 自治会館での役員会等の際には、①出席前の体温測定、②出席者のリスト作成、③入口でのアルコール等による手指の消毒、④マスク着用、⑤フェイスシールドの配布・着用を実施し、窓の開放やエアコンの使用、ソーシャルディスタンスの確保を行いながら会議を実施。
- ・ 自治会館で毎月行う定例会議については、協議事項や報告事項等を30分以内で終わりにするように行っている。
- ・ 月一回行っている役員会を文書により行っている。
- ・ 4月と5月の役員会は3役や部長による少人数での会議とし、他の役員からの意見は電話またはメモにて収集した。
- ・ 定例班長会は密を避けるため複数のグループに分け人数を減らして実施。
- ・ 最少人数で毎月の役員会を実施し、内容は自治会だよりで会員に周知した。
- ・ 役員会の開催場所の見直しと参加人数の削減。
- ・ 月1回の班長会議は、会議は行わず自治会館へ参集していただき、ソーシャルディスタンスを確保し配布物等を渡す取り組みを行っている。
- ・ 総会は書面議決による実施とした。
- ・ ズームを利用し、オンラインで役員会を行っている。

### ◆情報共有◆

- ・ 可能な限り回覧板で情報提供を行っている。

- ・原則回覧はせずに重要な回覧物はエントランス等に掲示している。
- ・市からの回覧物などはコピーして各家庭にポスティングしている。
- ・月に一回自治会だよりを作成し、市の広報等と一緒に配布している。
- ・活動自粛や会費徴収の判断、執行予算の考え方などの議論の経緯と結果を会員と共有することが重要と考え、毎月の役員会の議事録を会員向けに回覧。
- ・国や県、市のホームページを都度チェックし、必要と思われる資料を印刷し、各戸に回覧及び掲示をする。
- ・マンション管理組合と連携し、WEBツールを利用し、打合せ資料をクラウドで管理・閲覧を行っている。
- ・LINEまたはメールでの情報共有。(使用できない人はポスティング)
- ・役員会でできなかった話は、後日ショートメールにより、報告・連絡を行うようにしている。
- ・30名の班長と会長・副会長2名・会計でLINEグループを作成し情報共有している。
- ・自治会活動の情報等はホームページに載せ、会員からの問合せはホームページの「問合せ」からメールがくるので、メールで回答を送付。

## ◆イベント◆

- ・ちびっ子達からイラストを募集し、自治会館前に掲示。
- ・集まらないイベントとしてイルミネーションを企画。
- ・秋祭りが開催できないため、オンラインによるイベントを実施する。

## ◆防犯・防災◆

- ・防犯パトロールのために集まることができないことから、町内約30か所に防犯パトロール実施中ののぼり旗を立てた。
- ・年間行事が行えず余った予算を防災、防犯等の設備整備に充てた。

- ・消防署で行っていた防災訓練の代わりに、各戸に黄色と赤色のハンカチを配布。大地震発生後の安否確認をそのハンカチをベランダに出すことで行うことにした。赤は助けが必要。黄は大丈夫。何も出ていない住戸が最優先となる。上下に密集している集合住宅の弱点を逆利用した動きの少ない安否確認方法となっている。

## ◆運営方法◆

- ・コロナ禍における集会所利用について、感染対策のマニュアル、チェックシートを作成、回覧し、実施している。
- ・回覧方式により共同募金を実施。
- ・自治会費はこれまで戸別集金していたが、現金の受け渡しを避けるため、年一括の銀行振込とした。
- ・電話による連絡と回覧による連絡を行っている。
- ・年2回納めていただいている自治会費について、前期分を免除とした。
- ・多人数での集会所が行えないため、自治会会員の意見・提案は、目安箱を設置し、管理している。

## ◆その他の活動◆

- ・各クラブにおいて、アクリル板のフェイスガードを作り活動している。
- ・集会所にマスク、アルコール消毒液を用意、また、各テーブルは1～2名の使用、換気対策も行っている。
- ・各戸を訪問する際はインターホン越しを原則とし、対面が必要な時は事前に電話をしマスク着用の上、3分以内に用を済ますこととした。
- ・密集、密接に十分配慮しながら庁内清掃を実施。
- ・自治会館内での会食中止。
- ・自治会員に1家6枚ずつマスクを配布。

- ・対面での会費集金となるため、班長にマスク2枚を配布。
- ・祭りの中止等で浮いた会費を消毒液、マスク、レトルト食品を購入し各戸へ配布。

## 他市の活動事例

### ◆情報共有◆

- ・コロナ禍の前から回覧板の補助として、Facebook や Instagram、LINE などの SNS を活用していたため、人との接触削減のために回覧板をお休みすることになった時も町内会活動の情報発信を続けることができた。
- ・回覧板の代わりに掲示場所に資料を複数枚置き、自由に持ち帰れるようにした。
- ・若い世代に SNS の使い方を教わり、地域情報の共有などに活用した。
- ・希望する世帯には、紙で発行していた「町会便り」をメールで配信した。
- ・地域の行事・活動をマニュアル化し、マニュアルデータをネット上に保管することで、関係者が誰でも見れる環境を整え、引継書としても活用している。
- ・健康に関する情報（食や運動など）の発信。
- ・スマホLINE講座やスマホZOOM勉強会を実施し、まずは役員で使えるようにした。

### ◆イベント◆

- ・以前は料理を作り皆さんで会食をしていたが、それができなくなってしまったため、敬老の日に75歳以上の方約200名に見守りを兼ねてお菓子の詰め合わせを配布した。
- ・掲示板の利用が少なくなったため、子どもの作品を展示。
- ・3密を回避できる屋外イベントとして「ウォークラリー」を実施。未就学児はスタンプラリー、子ども会と一般には地域にちなんだクイズを5箇所の掲示板に貼り出し、その順路を巡るものとした。

- ・集まって開催していたイベントの代わりに、個人で参加できるスタンプラリーを開催した。

## ◆防犯・防災◆

- ・見守り活動の強化。
- ・AED販売メーカーの無料教育サービスを活用した救命訓練を実施。会館をよく利用する団体の代表者を中心に15人で受講。訓練後に、訓練内容は回覧を活用して周知した。

## ◆運営方法◆

- ・親睦会行事を中止した場合、相当額を会員に返還し、次年度の会費に充当する予定である。
- ・会費の取扱いを変更（数か月分を免除など）。
- ・「新しい生活様式」を取り入れた会館利用ルールの策定。

## ◆その他の活動◆

- ・清掃活動が中止になったため、代わりに戸毎にごみ袋を配布した。
- ・親睦会行事、レクを中止した代わりに商品券を配布した。
- ・高齢者の安否確認と市内のお店を応援するため、市内4店舗の協力により、弁当の販売を行った。少し心配になった方は生活支援アドバイザーや包括支援センターへ連絡し、本人の体調や生活等の変化を確認してもらった。
- ・市職員から「コロナ禍における避難所運営」や「住宅の耐震改修」に関する話を少人数で聞き、その内容を動画にし、地域の皆さんに自宅や地域の会合などの際に見てもらった。映像のデータはDVDとインターネット版の2種類を用意することで幅広い年代の方に見てもらえるようにした。

- ・コロナ禍のなかで引きこもりがちな高齢者の方々などの買い物支援になればと、市内の食の創業支援施設や八百屋さんの協力を得て、野菜の移動販売を実施した。
- ・イベントが中止になったので、町内の名所を歩いてもらうウォーキング冊子を作成・配布。
- ・仕事が減少していた自治会内の障害者就労継続支援B型事業所に自治会用マスクを発注し、子ども達に配布した。

参 考

## 書 面 議 決 書

下記の「令和2年度越谷市自治会連合会定期総会」の議案について、書面をもって議決権を行使します。

### 記

第1号議案	令和元年度事業報告について	賛成 ・ 反対
第2号議案	令和元年度事業収支決算について	賛成 ・ 反対
第3号議案	役員の改選について	賛成 ・ 反対
第4号議案	令和2年度事業計画（案）について	賛成 ・ 反対
第5号議案	令和2年度事業収支予算（案）について	賛成 ・ 反対

【ご意見等】

自治会名 \_\_\_\_\_ 自治会

住 所 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_ ⑩